

進路便り Road to the Future

No.42

本当の協力はここから

昨日、公立前期選抜入試の合格発表がありました。合格を掴んだ人、おめでとうございます。残念な結果だった人、勝負はこれからです。中期選抜に向けてもうひとがんばりです。本日、京都市乙訓通学圏の普通科について進路希望調査の集計を配布しました。もちろん今後変更も出てきますが参考にしてください。

さて、すでに進路先が決まった人が、中期選抜に向けて頑張っている人に対してできることはどんなことでしょう。本当の意味でみんなが大人に一步成長し、クラスが協力できる集団にまで成長したかどうかはこれから行動で決まります。再度公立受検にチャレンジするクラスメートのことを考えると、いい加減な態度で授業を受けていてはクラス全体のムードが悪くなります。私立入試や前期選抜入試で進路先が決まった人がクラスの雰囲気を壊しては何にもなりません。決まった人がクラスメートにできる最大の協力は『真剣に授業を受けること』です。自分の進路が決まったからといって他のクラスメートの進路がどうなってもいいとは決して思わないはずです。学年全員の笑顔が見られるまで自分ができることを精一杯しましょう。

“授業をしっかり受ける”はもちろん、プラス 決まった人が今から出来ること

まず、『朝の登校から』。朝学活の時刻8時25分に教室へ行っても、席に着いていない人がいませんか？校門で「遅刻」になっている人がいませんか。1日の始まりがこれではいけませんね。

次に『教室移動をはやく』。日によっては毎時間のように移動をしなければならない時もあります。そのような時、授業が始まってからぞろぞろ教室へ入ってくるようでは、授業の雰囲気をつぶしてしまいます。体育の前後の着替えや、移動教室の時には特に注意をしましょう。

最後に『机の中や、教室のロッカーの中をきれいに』。プリントやノート、ファイルなどが「突っ込んである」という感じの人はいませんか。教室の中の環境を整えましょう。

以上、今から出来ることです。クラスメート全員の進路実現に向けて、笑顔で大淀中学校を卒業していくように、みんなのこれからの行動に期待します。

合格した人に・・・

高校に合格することは、目標ではありますが、目的ではありません。いつまでも合格にうかれていっては、困ります。どのような高校生活を過ごすのか、そのためには、学習は・・・、部活動は・・・、さらに先の進路は・・・、と入学後の生活の青写真を描いてください。思い通りにはいかないことが多いですが、計画を立て段取りをつけることは、大変重要なことです。

また、私立高校を推薦・専願で合格した人は、お家の方と一緒に、合格後の自分のスケジュールをもう一度確認しておいてください。入学手続きの期日と登校日を絶対に忘れないように・・・。

お確かめください！！

私立高校を専願(推薦)で合格し入学校を確定しているみなさん。もう一度確認をして下さい。

それは、「入学金などの入金がまだですが?!」

「制服採寸などの手続きに来られませんでしたが?!」

「登校日に来られませんが?!」

たまに、高等学校からこんな問い合わせの電話がかかってくる事があるそうです。

この時期、手続きの不備が気になります。中学校で君たちに手続きの要請はしません。自分の責任において手続きをしなければなりません。十分に注意を払ってください。もう一度確認をして下さい。